

真夜中の橋の下 夜景の美と川の水 面の美しさ は・・・・・・・・義母と の夜のあと

夕方、近くのスーパーでの買い物から帰ってきた義母はすぐに部屋で服を脱いだ。

廊下で・・・・下着のハダカ。

しばらくして窓の外は夜になった。

・・・・・・・・三日前から低気圧が続き曇りの日が続いている。たまに雨もチラつく。

・・・・服を脱いだ義母はソファにエコバッグと財布の入ったバッグを置いた。

「トモダチとさ・・・・・・・・」

広場でとある不思議な遊びの話。

リビングの先にはシャワールームがある。夏の終わりでまだまだ今夜も湿度は高い。

自宅マンションの近くには綺麗な河川敷と大きな橋がある。幅が広い川であることもあり数キロ置きに大きな橋が架かっている。

・・・・・・・・・・・・・買い物や用事のついでにたまたま通りかかるその河川敷・・・・・・・・。

義母は今日買い物終わりにそこの近く
を通った。

．．．．．だが．．．．．。

リビングでシャワー終わり、窓の外には
星が見えはじめている。

その日の夜・・・・・・・・義母と川辺へ行った頃には時刻は深夜近くになっていた。

スマホを手に持って、俺たちは背中に少し汗をかいている。

・・・・・・・・数時間前はベッドの上。

真夜中だった。俺たちはマンションの外へ出て夜の街へ・・・・・・・・。

川のすぐ近くは傾斜の低い坂になっている。ほとんどは草むら、少し歩いて数段しかないがコンクリートの階段へ・・・・・・・・。

少しの間義母と座って見る夜景はいつも通り綺麗だった。

義母の太ももは真っ白下着である。

涼しい夜、目に留まったのは光る川の水
面。

夜空の光が届いて義母のTシャツの袖
に当たる・・・・・・・・。

そっと触ってみた。

（体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました）